

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-295989**(P2005-295989A)**

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005.10.27)

(51) Int.Cl. ⁷ A23L 2/38 A23L 2/00	F I A 2 3 L 2/38 M A 2 3 L 2/38 A A 2 3 L 2/38 C A 2 3 L 2/00 T	テーマコード (参考) 4 B O 1 7
審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)		
(21) 出願番号 特願2004-147010 (P2004-147010) (22) 出願日 平成16年4月14日 (2004.4.14)	(71) 出願人 503428840 平野 哲也 福島県安達郡岩代町西新殿字野竹内194 (72) 発明者 平野 かおり 福島県安達郡岩代町西新殿字野竹内194 町営住宅1-1 Fターム(参考) 4B017 LC02 LE10 LG10 LG20 LK04 LL01	

(54) 【発明の名称】 ビール風味のアルコールレス炭酸飲料の製造方法。

(57) 【要約】

【課題】 法から見ても、モラルから見ても何の問題も無く、飲む人を選ばない、炭酸飲料が提供出来る。

【解決手段】 麦茶・甘味料・ホップ(ホップペレット)を合わせて煮出し、炭酸水で割るだけなのでアルコール発酵を伴わず、まったくアルコールを含まない、アルコールレスのビール風味の炭酸飲料の製造方法を発見した。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

麦茶・甘味料・ホップ（ホップペレット）・炭酸水・香料を使用したビール風味のアルコールレスの炭酸飲料の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、ビール風味を麦茶・甘味料・ホップ（ホップペレット）・炭酸水・香料をブレンドして作る炭酸飲料の製造方法である。 10

【背景技術】

【0002】

従来のノンアルコールビールでは、製造過程でアルコール発酵を伴うためアルコールの含有を減少させることが出来ても、含有自体を無くす事が出来ない。
また、ビール製造は工程が複雑なので、製造するのに手間と時間がかかる。

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

アルコール1%未満は、酒税法では酒にはならないが、アルコールが含有している事には変わりなく、量を多く摂取すれば飲酒と同じである。 20

本発明は、ビール風味をアルコール発酵を行わずに製造し、アルコール含有率0%の気軽に飲めるビールフレバの炭酸飲料の製造方法である。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上記の問題を解決するために、従来と違った製造方法でビールの風味を作り出す手段を発見した。

製造方法は次の通りである。

（イ）水 1 L・麦茶のパック 1 袋（1 L に対して1袋のパックで水出し・煮出し両用タイプ）・ホップペレット 1 g（酸3.0～3.3%の物）・甘味料3 g（上白糖）を蓋付きの鍋もしくはやかんに、全部の材料を合わせて火にかける。 30

（ロ）沸騰したら、さらに中火にして60分煮る。

（ハ）煮出した原液を冷ます。（冷蔵庫で良く冷やすと更に良い。）

（ニ）冷やした原液100℃に対して炭酸水400℃で割るとちょうど良いビール風味の炭酸飲料が出来る。（原液1：炭酸水4の割合）

（ホ）割ることにより炭酸の強さが弱まるので、更に炭酸を注入する。

【発明を実施するための最良の形態】

【0005】

上記の製造方法はあくまでも基本の製造方法なので、さらに各種香料（フレバ）を加えることにより、味のバリエーションを増やすことが可能である。

実験結果としては、ホップ（ホップペレット）もしくは甘味料の種類を変えるだけでも、一味違った風味を楽しむことが出来る。ノンカロリー・の甘味料を使用すれば、ダイエットしている人でも飲める。天然素材が主成分なので、健康飲料にもなり、体にやさしい飲み物である。 40

また、製造方法も至って簡単なので、製造コストを削減出来る上、発酵工程が無い分完成までの手間と時間を大幅に短縮出来る。

【発明の効果】

【0006】

麦茶が主成分でアルコールを含有していない炭酸飲料なので次のような効果がある。

（A）飲んでも車の運転が出来る。

（B）昼夜を気にせずに、ビール風味を楽しむことが出来る。 50

(C) 未成年者でも炭酸飲料として飲める。

(D) 医者からアルコールを止められている病人・妊婦でも、お茶の炭酸飲料なので飲める。

(E) ノンカロリー - の甘味料の使用でダイエットを気にしている女性も愛飲出来る。

(F) 製造工程が簡単なので、ノンアルコールビールよりも製造コストが削減出来る。

(G) 国外でもアルコールレスのビール風味の炭酸飲料は販売されていないので、国内のみならず、世界規模で販売を展開出来る。